

NTTデータ/NTTデータ ジェトロニクス/日本電子計算

新日銀ネット対応の決済業務支援システムを一元提供開始 ～クラウドサービス化で、より迅速で効率的なサービスを実現～

NTTデータグループは、グループ各社が提供してきた日本銀行金融ネットワーク（以下、日銀ネット）利用金融機関の決済業務を支援するパッケージシステムをクラウド化し、新日銀ネット連携・決済管理に一元的に対応可能なサービスとして2014年度中に提供開始する。

日銀ネットとは、日本銀行と金融機関との間の資金や国債の決済をオンライン処理することを目的として構築されたネットワークだ。決済インフラのネットワーク化や金融取引のグローバル化、今後の金融サービスの内容や様々なニーズの変化に対応できるよう、システムの柔軟性やアクセス利便性を高め、将来の発展性を確保するために、2013年度以降、2段階に分けて新日銀ネットが稼働開始予定となっている。2015年度の第2段階稼働開始に際しては、CPU接続をしている金融機関において、通信制御の変更や電文フォーマットのXML形式対応が必要となる。また、新日銀ネットの決済方式に準拠した当座預金、国債の流動性管理が必要となるため、各金融機関のシステムにおいて、新日銀ネットに対応するためのシステム改修が必須となっている状況だ。

NTTデータグループでは、これまで10年以上にわたって、日銀ネットで規定する方式に準拠した決済業務支援システムとして、日銀ネットCPU接続ゲートウェイ・パッケージシステムである「B-FEP（ビーフェップ）」や、日銀決済流動性管理パッケージシステムである「日銀RTGSシステム」を提供してきた。また、新日銀ネット稼働開始に向け、両パッケージにおいて新日銀ネット対応のための機能追加を開始している。

このような状況のなか、NTTデータグループは、金融機関が新日銀ネット接続を行うにあたって必要となるこれら各システムを、従来のグループ各社からのパッケージ製品提供だけでなく、両パッケージシステムをクラ

ウド化し、新日銀ネット接続に必要な機能を一元的に盛り込んだクラウド型サービスとして提供することとした。これにより金融機関は、新日銀ネットへの接続対応を短期間、低コストで実現可能となる。

本サービスの概要は次の通り。

◆**新日銀ネットに対応する決済業務支援システムをクラウド型で一元的に提供可能**：日本電子計算のセンターと、NTTデータ ジェトロニクスのトランザクションバンキングアプリケーション「FMB7.0」を活用することで、金融機関が新日銀ネットに接続する際に必要となる、B-FEP、日銀RTGSシステムがスムーズに連携できるクラウドサービスを構築。また、各金融機関の各種バックオフィスシステムと日銀RTGSシステムとの接続にも対応し、新日銀ネット接続に必要な全ての機能を一元的に提供する。

◆**クラウド化により導入・運用負担の軽減を実現**：金融機関がシステムを個別に構築する場合と比較して、ハードウェア資産が不要となるので、迅速なシステム導入や導入・運用負担の軽減を図ることができる。これにより、特に、新日銀ネットの稼働開始に合わせて、端末接続からCPU接続への変更を計画している金融機関にとって、追加投資の抑制が図れる。

NTTデータは、本サービスの提供にあたっての全体統括および販売促進を行い、NTTデータ ジェトロニクスが、B-FEPの新日銀ネット対応と本サービスの販売、日本電子計算が、日銀RTGSシステムの新日銀ネット対応とB-FEPおよび日銀RTGSシステムの同社センターでのサービス運営、本サービスの販売を行う。

NTTデータ TEL：050-5546-2389

NTTデータ ジェトロニクス TEL：03-5157-7813

日本電子計算 TEL：03-5690-2874